

～寄り合って、寄り添って、みんなで育て、みんなで育つ～



長崎市立三原小学校

「誇りをもち、主体的で、自律できる子どもの育成」

～安全・安心を大切に作る三原っ子～



MIHARA TIMES

令和7年3月24日発行

文責 校長 増崎 祥宣

6年生が三原小学校を巣立ちました。

3月18日（火）、「卒業式」を実施しました。6年生37名が通い慣れた三原小学校を巣立っていきました。この日は、例年になく、とても寒い日でした。特に体育館は広く、エアコンもないため、座っていると震えがくるほどの寒さでした。そんな中でも、卒業生は素晴らしい態度で式に臨んでくれました。胸を張り堂々とした入場、卒業証書授与では、一人一人が大きな声で将来の夢や希望を述べていました。証書を受け取る顔は真剣な表情で、その目はきらきらと輝き、希望に満ちていました。座っている時間が長い式の間、姿勢が崩れることもなく、呼びかけや歌も練習以上の力を発揮していました。これまで三原小をよくするために頑張ってくれた37名の児童の今後の活躍を期待しています。児童、保護者、職員、地域の方の思いのこもった素晴らしい卒業式でした。



修了式・離任式。

3月24日（月）、本日、1年生から5年生の児童は、1年間の学習を終えた修了式を行いました。卒業した6年生と同じように、しっかりとした態度で臨んでいました。この1年、子どもたちは、それぞれの学年の活動を通して大きく成長してくれました。1つ学年が上がり、さらに伸びてくれることを期待しています。次年度も一緒に「みんなの笑顔があふれる楽しい学校」を創っていきましょう。

離任式では、お世話になった先生方とのお別れをしました。これまでのご指導に感謝するとともに、今後のご活躍を願っています。



1年間、ありがとうございました。

本日をもって令和6年度の教育活動を終了しました。保護者の皆様には、本校の教育活動へのご理解とご協力をいただき、感謝しております。また、地域の皆様にも、大変お世話になりました。皆様のおかげで、児童は明るく伸び伸びと成長を続けています。これからも変わらず、三原小の児童のためにご協力をよろしくお願ひします。